



“あたり前田のクラッカー”は売っていない

会長 小池 正一

昔、テレビで「てなもんや三度笠」という、どたばた時代劇の舞台放送をやっていました。藤田まこと（今は、必殺仕事人？ 昔は、コメディアン）と白木みのるという役者が主役でした。そのテレビのスポンサーが前田製菓という会社であったため、途中のギャグとして、「あたり前田のクラッカー」を入れていました。

よく、職場で、「だれだれさんは仕事を手伝ってもらっているのに、他の人がいそがしいときでも手伝ってくれない。」とか、「他の職員がお客さんに対応しているのに、代わりに受付などの仕事を手伝わない。」とか、「休暇で休みをとっているときに、職場のみんなで仕事をフォローしているのに、他の人が休暇をとっているときにフォローしない。」とか、あたりまえのことをしてくれないという不満を聞きます。

妻も僕と同じ仕事をしていたので、そういう不満をよく聞かされました。

そんなときに、僕は、この「あたり前田のクラッカーは売っていない。」からね、とっておりました。

これは、別に、仕事の現場での話というわけではありませんね。学校でも、友達同士でも、「こうしてあげたのに……、だったら、こうするのがあたりまえじゃない。」と思うことがいっぱいあるのではないのでしょうか。

家庭でも、夫婦間、親子間で「何かしてもらえるのがあたりまえだ。」という思いを持つことがあるのではないのでしょうか。

でも、好意として行った行為を「あたりまえだ。」といわれるのは、いわれたほうは不愉快に感じますよね。そこから話はできません。話をして理解しあうためには、「あたりまえだ。」と思わないことが大切に思います。

「あたりまえだ。」と思っていれば、当然「ありがとう。」とはいいません。少しの好意に対しても、「ありがとう。」ということで、人と人とのコミュニケーションができてくるのだと思います。

5月の晴れた日に、病院のベランダに作られた庭に、酸素ボンベをつけた車椅子に妻を乗せて、八重桜やつつじの花を見ていました。妻が小さく「ありがとう。」といったのが耳に残ります。一瞬、何に対していったのか分かりませんでした。「今まで愛してきたし、これからも愛しているから。」と、普通とは思えない言葉を口にしていました。それが、交わした言葉の最後でした。僕のほうが妻に対して、「ありがとう。」といい損なったのでしょうか。

これから、皆さんも高校生活、大学、社会において、生きていくなかで、「あたりまえだ。」ではなく、人の好意を「ありがとう。」と受け止めていただきたいと思います。

高校時代に技術を学ぶ大切さ

鹿児島大学教育学部教授 長谷川 雅康

一 はじめに

私は、現在の職場で中学校技術科と高等学校工業科などの教員養成に携わっています。その職務を果たす基礎は、学生時代までに受けた教育の上に、20年間の東工大附属工業高等学校での教員生活で学んだことが非常に重要と考えています。私は普通高校を出て、大学工学部に進学した者ですが、工業高校の卒業生と比較して、どのような違いがあるかについても考えてきました。

その問題を解くため、二〇〇〇年度から今日まで工業高校を卒業した方々、とくに世の中で技術に関わる仕事をされてきた方々に対してアンケートと面接により、工業教育を受けたことの有用性や影響・効果などについて尋ねてきました。以下に、それらの結果の一端を紹介して、高校時代に技術を学ぶ意義や大切さを考えたいと思います。

二 工業高校卒業生の受け止め

二〇〇〇年度から3年間、東工大附属工高を含む、大阪・鹿児島工業高校4校の卒業生(卒業後12年～35年)を対象とした工業教育の評価(効果)に関するアンケート調査を実施しました。

東工大附属工高510名、都島工高435名、今宮工高367名、鹿児島工高377名、総計1,689名から有効回答を得ました。その結果の一部を紹介します。

(一) 専門科目の有用性について

工業高校で学んだ専門教科の以下の点で、実社会で技術に関わる仕事をする中で、どの程度役立ったかを問いました。

イ. 実験・実習で習得した技能

ロ. 実験・実習で習得した段取り(仕事の見通しをつけること)

ハ. 製図で習得した技能、技術的知識

ニ. 専門科目で学んだ実際の技術的知識

ホ. 専門科目で学んだ理論の基礎

の項目毎に五段階で評価して頂きました。

この結果から、専門科目の有用性が全体的に相当認められています。とくに、ニ、ホ、が学科の別なく、高く評価されており、ハ、は建築・機械・土木の各学科で高く評価されています。また、電気科ではホ、が非常に高く評価され、注目されます。平均値で見ると、土木・機械・建築・工業化学などで高い評価を得ています。学科による評価の違いがそれぞれの専門性の特徴を示していると思われる。

(二) 就職後の社会生活で、高校教育の影響(効果)と感ぜられること

選択肢として、以下を複数選択頂きました。

イ. 十五歳からの技術・技能教育によって技術的センスが身に付いた。

ロ. いろいろな人とのコミュニケーションが自然にとることができるようになった。

ハ. 十五歳から専門的な勉強ができ、事実に基づいて考えるようになった。

ニ. 課題に対し、積極的・主体的に取り組む心構えが身に付いた。

ホ. 仕事の意味や社会のしくみを具体的にみられるようになった。

ヘ. ものをつくる際、全体の流れ・見通しをつけられるようになった。

ト. 具体的な体験を通じて、関連分野の技術的イメージが構成しやすくなった。

その結果、全体としてト、イ、ロ、ハなどが多く認められ、工業教育の固有の特性が裏付けられているとみられます。

調査全体の結果、総じて十五歳からの高校工業教育の特質は次のように考えられます。

①十五歳から十八歳という時期の具体的な技術体験を踏まえた教育が一生を通じた影響をもつこと。

②とくに手を用いて具体物を扱うことが、後の理論学習の大切なバックグラウンドを用意すること。

③理論の基礎を、検証実験を伴って学習することが重要であり、高校時代がそれに適すること。

④ものづくりの全体の見通し(段取り)を付ける力が身につくこと。

⑤物事への積極的な姿勢が身に付けられること。

三 卒業生の語る工業教育の意味

その後、二〇〇五年度から3年間、先のアンケート調査の協力者に対する面接調査を行いました。24名の方々に答えて頂きました。その結果は以下のようによまとめられます。

技術的な実務をする上で有益だったとされる工業教育の内容は、製図、実験・実習、課題研究、工業学科の専門科目などであった。それらが全体として有機的に関連付けられて学ぶことができたことと述べている。とくに、実習においてもの(材料)や現象に直接触れながらの学習が最も印象深く、長い時間が経過しても、種々の問題に立ち向かう際の原点であると語っている。その一例は次のように表現されている。「一連の工業関係の専門科目は、それぞれの学科に対する専門科目として座学としてあって、実習がそれに対してついてくることによって、専門教育の部分のどこかが実習につながってくると思うんですよ。実際にやってみることで、知識として定着する。目で見て、耳から聞いて、手で触って、学習したことが頭の中ですべて繋がる。それでようやく使

える頭になってくるのかなと思います。それを一回経験してしまうと、他に活かせるのではないかと思います。工業高校で学んで良かったです!!」(20年余り前に、機械科を卒業し、ある航空会社で機長・教官・査察機長をしている方)

十五歳から十八歳という高校生は、頭と身体が柔軟かつ成長著しいので、体験すること、学ぶことが直ちに我がものにできる年代である。また、あまり雑音の入らない状態で勉強に向かうことのできる時代であり、基本を言われるままに忠実に蓄積できると考えられる。このため、専門教育の内容をそれぞれの分野の学問体系に沿って系統的に順序づけて用意する必要がある。

以上のように、私どもの調査から、工業教育の内容の核心は、実習・実験など五感を総動員した学び、すなわち頭と身体を連携させた学びであり、さらにブラックボックスのない学び、最初から全ての段階を踏んで結果を得る、過程を大切に学ぶことが重要と考えています。

四 おわりに

昨今の極めて厳しい経済状況と地球環境の危機の時代において、人類に必須の技術(農業、工業など)を次世代がしっかり受け継ぎ、発展させることが非常に大切です。人間が自然とどのような関係をもって存続すべきかを考える基盤が、技術を学ぶことによって培われると考えるからです。とりわけ、高校時代までに具体的な技術を身体と頭で習得することが堅実で賢明な人生を過ごすために不可欠であると信じています。

第五回 シェフ大塚お料理教室

1月31日、朝から冷たい雨の中、50名を上回る大勢の保護者の皆様に参加され、楽しいお料理講習会となりました。



今回は、受験直前ということもあり「ストレスに負けない健康食」をテーマに、また、不景気を考え食材のコストを押さえた5種類のレシピを教えてくださいました。

- ①ストレスを和らげ頭と心に効くスープ
「アサリとホウレン草のミルクチーズスープ」
- ②精神を安定させ落ち着ける
「人参のお好み焼き」
- ③血液の流れを良くして記憶力をアップ
「枝豆と春雨の炒め物」
- ④「チキンソテーマスタードソース」
- ⑤「洋梨のパンプディング」

《通常、料理教室では、値段が高く、食材が高価で集めにくく、時間ばかりかかり、自宅へ帰って作ることは、大仕事です。また、せつかく作れても、カロリーが高く、家族の口に合わなくて、家庭料理にならないことばかりです。》

今回は、どこのスーパーでも手に入る食材が、シェフ大塚の手にかかるとまるで、高級フランス料理店のリッチで優雅なお味に大変身でした。しかも、家族の健康を考えて、バランスの良いレシピを選んでいただきました。シェフ大塚の采配で手際良く次から次ぎへお料理が盛り付けられて、アツと言う間に調理室がホテルの大宴会場の席のように変わり、先生方もご参加され



て楽しい笑いに包まれた会食となりました。



一流のシェフにお料理を教えてくださいただける貴重なチャンスでしたが、二児のお子様を持つ優しいシェフ大塚のお料理に対する精神と皆様へのメッセージをお伝えします。

「いただきます」と生き物の命をいただける感謝を忘れないこと。また、家族で楽しい食卓を囲み、笑い、喜び、悲しみなど分け合うことです。これは、家族の健康を守り、絆を深めることです。

《講習会を終えて、我が家も子供達が巣立ってしまう日まで秒読みに入り、毎日の忙しさに負けず、残り少ない食事のチャンスを毎食大切にしたいと思いました。》



■第5回 シェフ大塚お料理教室の概要

日時	2009年1月31日(土) 11:00~14:00(受付 10:30~)
会場	本校1号館3階 家庭科実習室
メニュー	ストレスに負けない健康食
講師	大塚義夫氏
持ち物	エプロン、タオル、三角巾、箸、筆記用具
参加費	500円(当日受付)

■シェフ大塚(大塚義夫)氏 プロフィール

- 1976年 第1回青年司厨士ヨーロッパ派遣員として欧州各国で修行
- 1978年 フランス プロスペール モンタニエ 受賞(優秀料理人賞)
- 1981年 レストラン東急支店料理長 就任
- 1993年 レストラン東急本店総料理長 就任
- 1997年 総料理長としてプレッセ1号店を立ち上げる



現在、高級フランス料理を日常生活の惣菜へ、3度の美味しさ=「見た美味しさ・食べた美味しさ・感動する美味しさ」をコンセプトに、素材にこだわり安全性を追求した「食=健康=美味しさ」を、テーマにした商品を開発中。



三溪園 庭園見学会報告

地歴・公民科教諭 村田 幸久



ンバー、保護者の方など11名が参加され、私が講師(ガイド役)として務めさせていただきました。以下、その概略をご報告いたします。

園内は広く、小春日の好天気でしたので人出も多くかなり混雑していました。大きな池を左手に見ながら、内苑の

11月22日後援会恒例の庭園見学会が実施され、今回は横浜本牧にある三溪園に行ってきました。三溪園は生糸貿易により財を成した実業家で茶人でもあった原三溪によって完成された庭園です。その園内の建物が重要文化財、あるいは市指定有形文化財に指定されています。

当日、1時正門に集合しました。参加者は市村益男副会長をはじめ、今田・西谷両先生、後援会のメ

鶴翔閣を通り、記念館に入って小休憩したのち白雲邸、臨春閣へと向かいました。鶴翔閣は三溪が建て、住んでいたことのある旧原家の住宅であり、臨春閣は紀州徳川家初代頼宜の別荘を移築したものです。とくに臨春閣はお部屋から池が眺められ、避暑には最適だろうと思いま



この日は園内で菊花展が開催されていて、神奈川県内から大輪の見事なものが出展されていたのでこちらにも興味があり、とにかく、十分見応えのある見学会でしたが、自然と出会い、ゆったりとした時間を心おきなく過ごせたことは大いに意義があったと考えます。

した。そして、やや小高い所に位置した金毛窟、春草廬という2つの茶室を訪いましたが、金毛窟の入り口にあった古式の蹲(つくばい)が時代を感じさせて風情がありました。

内苑から外苑に出て、この庭園を象徴する建物である旧燈明寺の三重塔を見に行きました。もともと京都にあった室町期の建物を移築したもので、ゆるい勾配の山道を登った所にそびえ立っていました。確かに室町期の建物として落ち着いていて、風格のある感じがしました。眺望も良くしばらくは時間を忘れるほどでした。さらには旧燈明寺本堂、旧東慶寺仏殿などを時間をかけて見て回り、池の南側沿いを下りながら正門にもどって、記念撮影をして4時近くに散会となりました。



このような催しを企画していただきありがとうございました。



ピアノの更新について

副校長 門馬 進

音楽室のグランドピアノの老朽化がひどく、音程等も狂っていてどうにかして欲しいとPTA会長から要請がありました。事務管理で確認すると修理には出しているが、もう限界に来ていて修理不能の状態にあると聞きました。音楽担当の講師の先生と話し合い、新しいものと買い換えることになりましたが、国費の予算不足のため助成金から費用を拠出し購入いたしました。ピアノはヤマハのグランドピアノC-3と言う中級の製品で諸経費込みで180万円弱でした。昨年9月23日の秋分の日、クレーン車ですり上げ4号館5階の音楽室に無事設置されました。音楽の先生からも楽しく授業できると感謝されました。あと様々なアンケート調査で使用するマークシートリーダーも老朽化した



ため、新品を文化祭バザーの売り上げのお金をいただき、購入する予定です。

弟燕バザー



高校への支援を考えて提供して下さった品物に対して、後援会役員で品種と個数を分別して、適正価格を定めています。文化祭(弟燕祭)

の2日間で、本館(1号館ロビー前)で後援会役員の役割分担に従い、完売を目標に開催しました。バザー売上金から、文具やビニール袋、休憩時の茶菓代金などを差し引いた純益(実収入)を会計役員を通じて教育後援会の口座(後援会の運営費用に充当)に入金しております。

ここ数年間の寄付としては、本校の教育補助費と合算しながら、平成18年度「4号館・体育館前に除細動機(AED)設置」、

平成19年度「本館2階212教室前方にスクリーン設置」、平成20年度「光学式マークシートリーダー(OMR)」(予定)です。

ご協力いただいた皆様方に厚く御礼申し上げます。なお、今回の売上げ金額は、十二万三千八百八十円でした。

(記 西谷)



教育後援会だより 第10号

平成21年3月11日発行

東工大附属高校教育後援会

発行人 小池 正一

印刷所 株)レンタリンク tel.045-719-7201